

[日本標準商品分類番号] 872615

[承認番号] 16100AMZ02285000

[薬価収載] 1986年3月

[販売開始] 1986年3月

[再評価結果] 1982年8月

殺菌消毒剤

[貯 法]

遮光した気密容器に入れ、火気を避けて保存。

[組成・性状]

1. 組成

本品は15°Cでエタノール(C₂H₆O:46.07)99.5vol%以上を含む(比重による)。

2. 性状

本品は無色澄明の液である。

本品は水と混和する。

本品は燃えやすく点火するとき、淡青色の炎をあげて燃える

本品は揮発性である。

[効能・効果]

手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、医療用具の消毒

[用法・用量]

本品を精製水で薄めて、エタノールとして76.9～81.4v/v%とし、これを消毒部位に塗布する。

[使用上の注意]

1. 次の部位には使用しないこと

損傷皮膚及び粘膜(刺激作用を有するので)

2. 副作用

(1) **過敏症** 発疹等の過敏症状があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること。

(2) **皮膚** 刺激症状があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3. 適用上の注意

(1) 人体

ア. 原液又は濃厚液は刺激作用があるので経口投与しないこと。

イ. 目に入らないよう注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。

ウ. 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。

エ. 同一部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。

(2) その他

本剤は血清、胆汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。

[薬効薬理]

本剤は使用濃度において栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)酵母菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)及び一部のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。

[取扱い上の注意]

注意: 1. 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合には、腐食を防止するために0.2～1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。

2. 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学機器、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるので、このような器具には長時間浸漬しないこと。

[その他の注意]

承認外の経皮的エタノール注入療法(PEIT)使用例で、注入時の疼痛、酩酊感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内等での出血、肝梗塞、肝不全等が報告されている。

アルコール類 水溶性 危険等級II

[主要文献] 日本薬局方解説書(広川書店)